

ホテル紅や × 木曽漆器・松代焼

伝統的工芸品産業地域内循環支援事業補助金 活用事例集



木曽漆器・松代焼

松代焼の丸鉢皿、酒器セット、急須・湯呑み、醤油皿を購入し、レストランで食事の提供を行った。宴席・パーティーでは木曽漆器のワインクーラーでのワイン・日本酒の提供を行なった。新規で購入した伝統的工芸品のみならず、従来から活用していた伝統的工芸品を県内外、海外からの宿泊客に情報発信をした。今後SNS等でも今まで以上に魅力発信をしていく。

ホテル紅や

長野県諏訪市湖岸通り2丁目7-21

諏訪湖畔に立地し、北アルプスの山々と、心癒される温泉を満喫できるリゾートホテル。湖側の客室の窓からは、諏訪湖のダイナミックな景色を一望でき、ホテル最上階にある展望浴場につかりながら眺める諏訪湖の景色は格別。和食・洋食・中華が楽しめる食事は地元食材にこだわり、信州の味に舌鼓を打つこと間違いなし。





信州紬・長野県農民美術 長野県手作り打上花火

秋の観光シーズンに実施する観光イベント「鹿教湯温泉 食・浴の秋祭りウィーク」と伝統的工芸品を組み合わせ、上田地域の伝統的工芸品の魅力や価値を県内外の観光客にPRした。【歴史ある湯治場で伝統に触れる】というサブタイトルを設定し、上田地域の伝統的工芸品（信州紬（上田紬）・長野県農民美術・長野県手作り打上花火）の生産者と協働し、「伝統的工芸品の製品展示・製作体験」、「手作り花火の打ち上げ」を行った。

会場におけるアンケート調査によるとイベント来場者の3分の2は、伝統的工芸品ブースを利用したと結果が出ており、伝統的工芸品の知名度向上や鹿教湯温泉への集客に一定の効果があつた。



鹿教湯温泉

上田市鹿教湯温泉

“鹿が猟師に教えた秘湯”との伝説が残る『鹿教湯温泉』。環境庁指定の国民保養温泉地であり、古くは江戸時代より湯治場として栄えていた。無色透明の弱アルカリ性単純温泉で、高血圧や動脈硬化、脳卒中の後遺症などに効能があり、温泉街には数ヵ所の飲泉所も設けられている。



松本十帖 × 木曽漆器

伝統的工芸品産業地域内循環支援事業補助金 活用事例集



木曽漆器

木曽漆器の型鉢、スプーン、デザートスプーンを購入し、松本本箱のレストラン「薪火ダイニング367」で使用した。木曽漆器のお皿・料理で一体的にローカル・ガストロノミーを表現し、県外や海外の観光客を中心にその魅力の発信を行った。今後、SNS等でも使用している伝統的工芸品の魅力を発信していく予定。

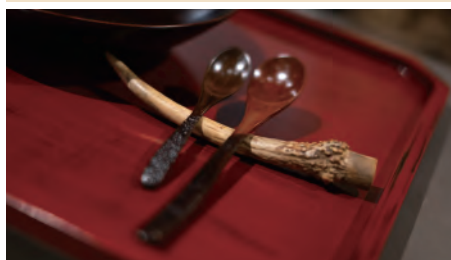


松本十帖

松本市浅間温泉3丁目13-1

貞享3(1686年)創業の歴史を繋ぐ『松本十帖』には2つのホテルがあります。一つが「豊かな知と出会う」をコンセプトにしたブックホテル『松本本箱』。そしてもう一つがベビー&キッズウェルカムの新しい温泉ホテル『小柳』です。源泉かけ流しの露天風呂が全室に付いているのは2つのホテル共通ですが、コンセプトとデザインは大きく異なります。

『松本本箱』は寸分の隙もなくデザインされた「緊張感のある」空間。旧小柳の記憶を随所に残し、新旧のレイヤーを感じられるのが特徴です。『小柳』は、貞享3年(1686)創業の名称を引き継ぎながらも中身は完全に新しいホテル。壁面は珪藻土仕上げ、天然木を多用しており、車椅子でご利用いただけるユニバーサルルームもあります。



BYAKU Narai × 木曽漆器

伝統的工芸品産業地域内循環支援事業補助金 活用事例集



BYAKU Narai

塩尻市奈良井551

BYAKUは、宿です。でも普通の宿ではありません。地域に眠る百の体験をお客様に届け、百年前の建築を未来に遺す宿、それがBYAKU（百）の在り方です。宿という字をよく見ると、その中には百が隠れています。百年の家の下に、百人のつながりがある。そのつながりが、建物を何百年も遺し、思いも何百人に広がっていく。そんな古来からの宿の在り方を探求しています。あなたとの人生に美しい思い出を重ねていただくために、百の地域の体験を用意してお待ちしております。



木曽漆器

木曽漆器の弁当箱と箸のセットを購入し、BYAKU Naraiが造成するオプションルツアーでの使用や館内のルームサービスにて使用することで、漆器はもちろんのこと、木曽五木にまつわるストーリーや木材加工技術・曲物などについて宿泊者に発信した。今回の事業で購入した、機能的かつデザインにも優れ、木曽地域の木材加工技術をふんだんに盛り込んだ製品は、今後継続し宿泊客に触れていただく機会を作っていく予定。



富士之湯 × 木曽漆器

伝統的工芸品産業地域内循環支援事業補助金 活用事例集



富士之湯

松本市浅間温泉3-13-5

1832年創業の瀟洒な温泉宿。浅間温泉は松本城主の御殿湯とし愛用された名湯で、現当主で20代目となる。先祖より代々伝わる古美術や古文書を展示し、館内は美術館のような佇まい。源泉掛け流しの畳敷き無料貸し切り露天風呂には湯花が浮かびクラシカルなタイルが魅力的。お食事は朝夕ともお部屋にて。お食事は地物の食材にこだわり、長野県の伝統的工芸品である木曽漆器等に盛られて提供される。随所に飾られる生け花を愛でながら、古から伝わる伝統の日本旅館でくつろぐことができる。



木曽漆器

木曽漆器の摺漆のおひつ・しゃもじ・コースターを購入。朝・夕食時に使用し、漆器の魅力や価値を県内外の宿泊者に発信することで「長野県の伝統的工芸品を伝えながら、日本の文化である旅館を楽しんでいただく」という旅館のコンセプトに沿ったおもてなしをすることができた。館内に木曽漆器のカタログを設置し、SNSによる宣伝も実施。現在、客室には木曽漆器の座卓と座椅子、フロントには木曽漆器の沈金パネルを飾っており、今後も木曽漆器の魅力を発信していく。

花屋 × 信州紬

伝統的工芸品産業地域内循環支援事業補助金 活用事例集



信州紬

以前より女将が着用する着物として信州紬を使用しており、今回、補助金を活用し従業員用の制服として使用する信州紬（上田紬）の着物を購入。今回購入した信州紬含め、伝統的工芸品を活用したおもてなしについて、ブログ・SNSにより対外的なPRも行っており、今後様々な反響が想定される。



旅館 花屋

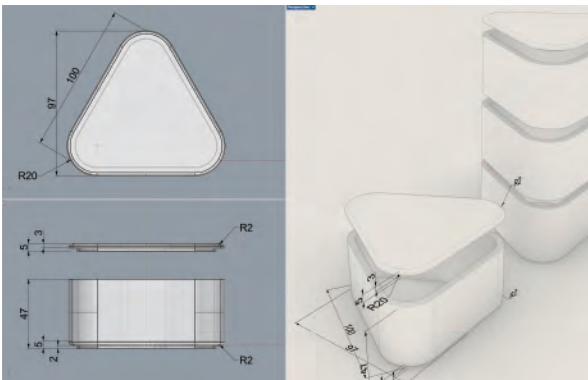
上田市別所温泉169

大正6年創業の100年以上続く老舗温泉旅館で、ほぼ全館が文化庁の登録有形文化財に指定されている。大正ロマンの香り漂う琥珀色した非日常世界の中で、100%源泉かけ流しの温泉、心のこもったおもてなしと手作りの極上会席料理を堪能できる。



BYAKU Narai × 木曽漆器

伝統的工芸品産業地域内循環支援事業補助金 活用事例集



BYAKU Narai

塩尻市奈良井551

BYAKUは、宿です。でも普通の宿ではありません。地域に眠る百の体験をお客様に届け、百年前の建築を未来に遺す宿、それがBYAKU（百）の在り方です。宿という字をよく見ると、その中には百が隠れています。百年の家の下に、百人のつながりがある。そのつながりが、建物を何百年も遺し、思いも何百人に広がっていく。そんな古来からの宿の在り方を探求しています。あなたとの人生に美しい思い出を重ねていただくために、百の地域の体験を用意してお待ちしております。



開発経緯

木曽漆器事業者（丸嘉小坂漆器店）と工芸デザイナー井出八州（YANOBI）が連携し、デザイン性・機能性が高い木曽漆器の伝統技術を用いた「弁当箱セット」を2製品開発した。

1つ目は、BYAKU Naraiのオプションルツアーでの使用を想定し、おむすびを入れるための三角型の新規性に富むデザインの弁当箱を開発した。全てのパーツの重ね替えが可能で省スペースでの食事ができるなど使いやすさのこだわりと職人の技が光る製品となった。

2つ目は、BYAKU Naraiのルームサービスでの使用を想定し、組み立て式の弁当箱を開発した。木板の大きさや組み合わせ方を変えることで、色々なサイズ・構造の弁当箱として使用可能となっており、様々な場面で使用できる汎用性の高い製品となった。

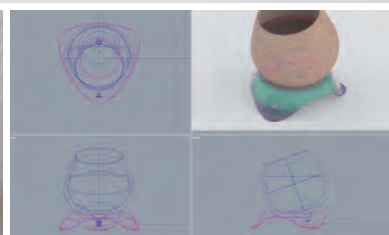
阿寺ブルー × 南木曽ろくろ細工

伝統的工芸品産業地域内循環支援事業補助金 活用事例集



開発経緯

南木曽ろくろ細工事業者（ヤマイチ小椋ロクロ工芸所）とガラス加工の事業者（木曽駒ミクロ）と連携し、南木曽ろくろ細工の伝統技術と木曽駒ミクロの最新技術を融合した新製品「ろみくろ」を開発した。本事業では、アクセサリ・モニュメント・工芸品・記念品・イベントメダルなどを試作し、今後、“世界へ発信「ろみくろ」製品”のブランド化を目指して今後もシリーズの製品化を継続していく。



阿寺ブルー株式会社

木曽郡大桑村大字長野 2452

令和5年（2023年）創業。木曽郡大桑村にオフィスを構え、阿寺溪谷キャンプ場運営、阿寺溪谷内シャトル運用事業、溪谷ガイドなど幅広い観光事業を運営。阿寺溪谷はエメラルドグリーンの美しい色合いから「阿寺ブルー」と呼ばれる。大自然を満喫する絶好のスポットとして有名で、毎年多くの観光客が訪れる。

